

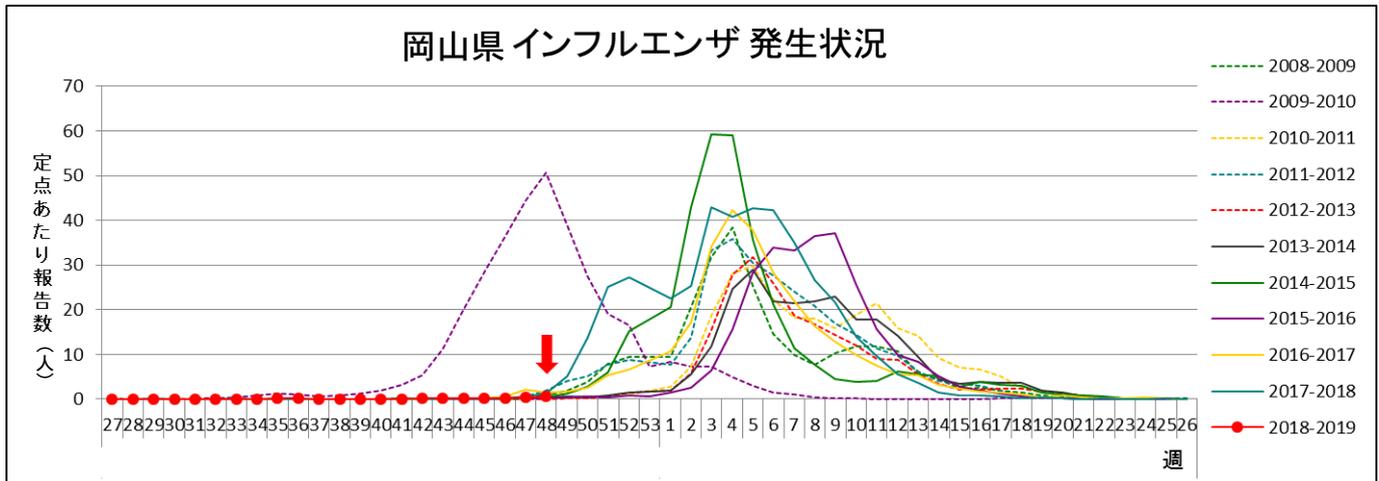
インフルエンザ週報 2018年 第48週 (11月26日～12月2日)

➤ 岡山県の流行状況

- インフルエンザは、県全体で60名(定点あたり0.71人)の報告がありました(84定点医療機関報告)。
- インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が2施設でありました。
- インフルエンザによる入院患者2名の報告がありました。

【第49週 速報】

- インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が4施設でありました。(12月4日～7日)



インフルエンザは、岡山市で18名、備前地域で13名、倉敷市および備北地域で各11名などの報告があり、県全体では60名(定点あたり報告数0.71人)の発生となっています。

全国の第47週(11/19～11/25)の発生状況は、定点あたり報告数が0.52人であり、今シーズンに入ってから徐々に増加しています。都道府県別では、三重県(1.33人)、青森県および鹿児島県(各1.18人)の順で定点あたり報告数が多くなっており、流行開始の目安(定点あたり1.0人)を超える都道府県は、4県となっています。

インフルエンザの本格的な流行は、通常12月に入ってからといわれますが、岡山県では第39週に今シーズン初めての学校等の臨時休業が報告されており、全国でも、すでに第36週からインフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が報告されています。帰宅後は手洗いを励行し、感染予防に努めましょう。

[IDWR 速報データ 2018年第47週 \(国立感染症研究所\)](#)

[インフルエンザ Q&A \(厚生労働省\)](#)

[インフルエンザ 関連情報 2018/2019 シーズン インフルエンザワクチン株 \(国立感染症研究所\)](#)

1. 地域別発生状況

前週からの推移(単位:人)

地域名	発生状況		推移	地域名	発生状況		推移
岡山県全体	患者数	60	▲	備 中	患者数	3	▲
	定点あたり	0.71			定点あたり	0.25	
岡山市	患者数	18	▲	備 北	患者数	11	▲
	定点あたり	0.82			定点あたり	1.83	
倉敷市	患者数	11	▲	真 庭	患者数	2	▲
	定点あたり	0.69			定点あたり	0.67	
備 前	患者数	13	▲	美 作	患者数	2	▲
	定点あたり	0.87			定点あたり	0.20	

【記号の説明】 前週からの推移 ▲ : 大幅な増加 ▲ : 増加 ➡ : ほぼ増減なし ▼ : 大幅な減少 ▼ : 減少
 大幅 : 前週比100%以上の増減 増加・減少 : 前週比10～100%未満の増減

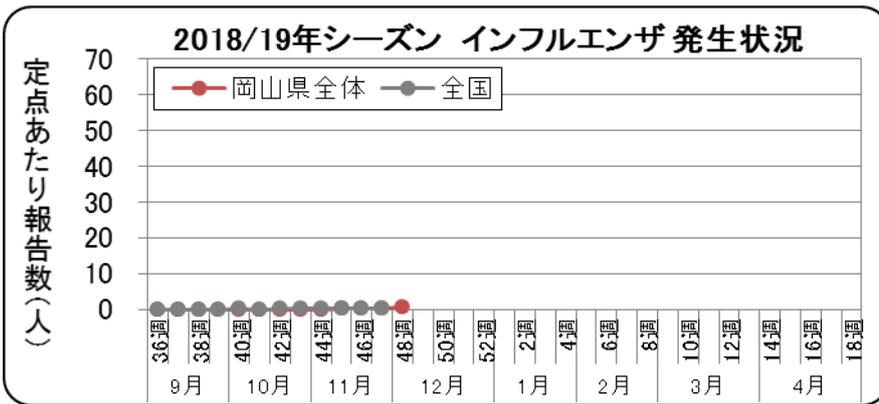
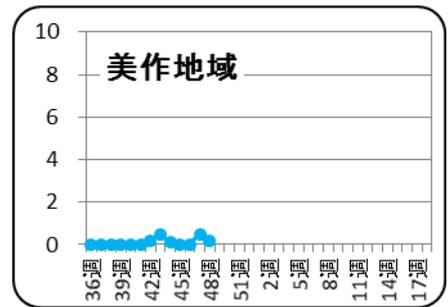
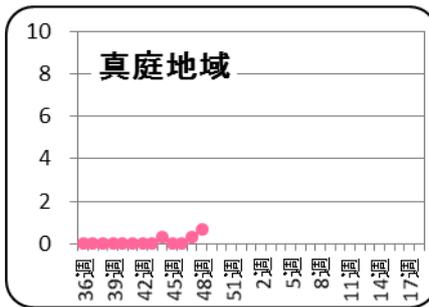
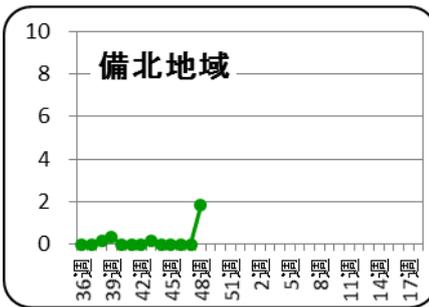
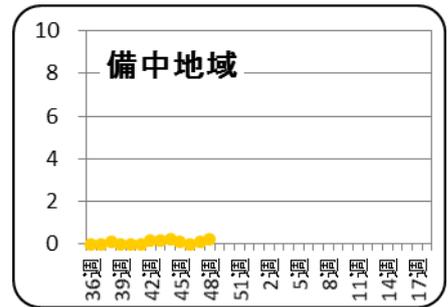
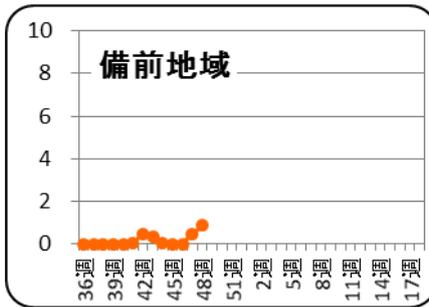
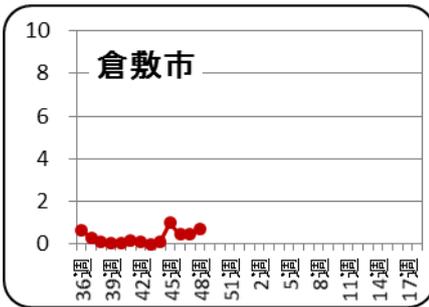
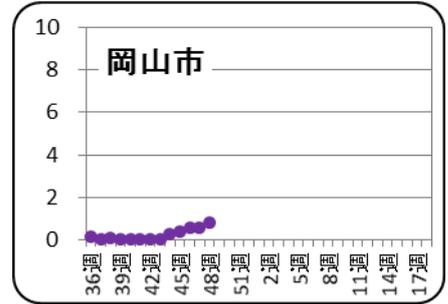
インフルエンザ感染症マップ



<インフルエンザ発生レベル 基準>

レベル3		レベル2
開始基準値	終息基準値	基準値
30	10	10 以上 30 未満

レベル1	報告なし
基準値	基準値
0 < 10 未満	0

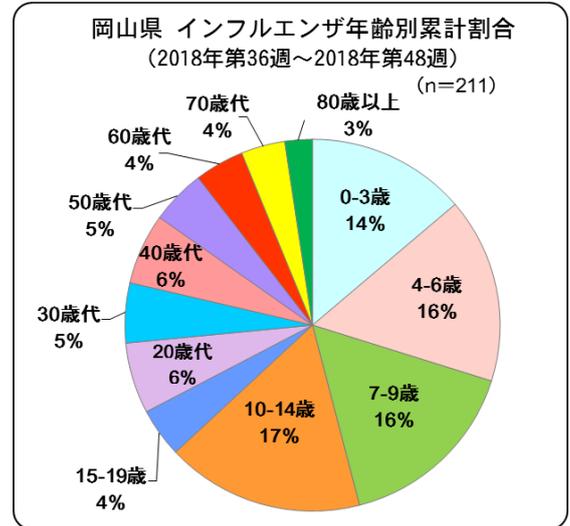


全国集計第47週(11/19~11/25)速報値によると、全国の定点あたり報告数は0.52人となり、前週(0.38人)から増加しました。都道府県別では、三重県(1.33人)、青森県および鹿児島県(各1.18人)の順で定点あたり報告数が多くなっています。

[インフルエンザの発生状況について](#)
(厚生労働省)

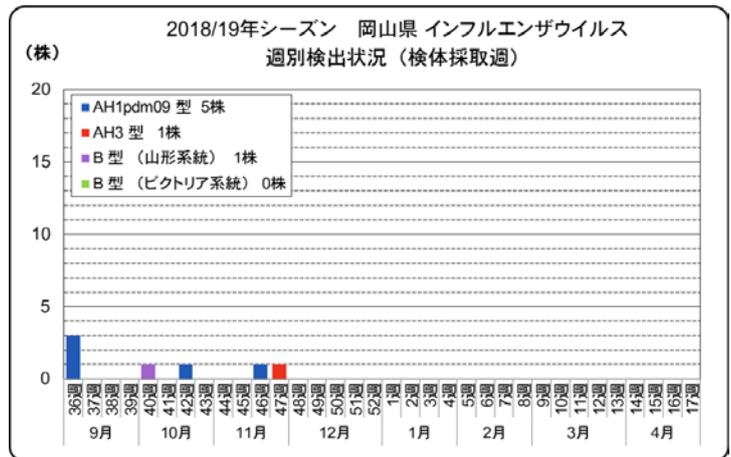
2. 年齢別発生状況

今シーズンの年齢別類型割合は、10-14歳 17%、4-6歳および7-9歳各 16%の順で高くなっています。



3. インフルエンザウイルス検出状況

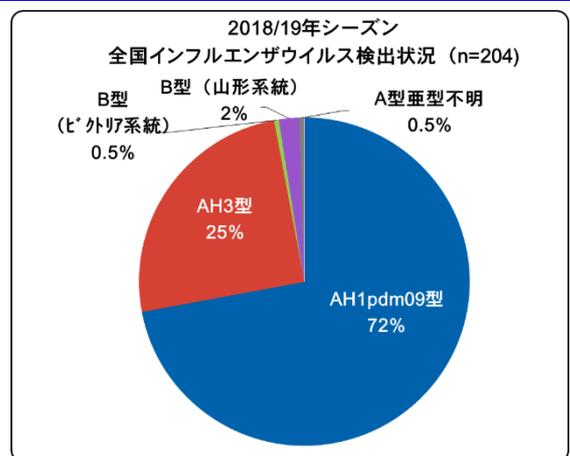
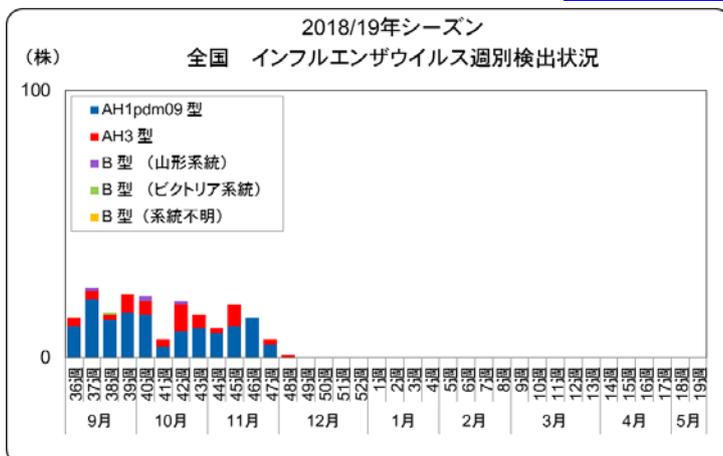
第48週、環境保健センターで検出されたインフルエンザウイルスは、2株（詳細は下表参照）でした。今シーズンこれまでに環境保健センターで検出されたインフルエンザウイルスは7株で、その内訳は、AH1pdm09型5株、AH3型1株、B型（山形系統）1株となっています。



ウイルス名	検体採取週	検体採取日	地域	年齢	性別	備考
インフルエンザウイルスAH3亜型	2018年第47週(11/19～11/25)	2018/11/21	岡山市	中学生	男	集団発生事例
インフルエンザウイルスAH1pdm09型	2018年第42週(10/15～10/21)	2018/10/19	備中	中学生	女	

今シーズン、全国で検出されたインフルエンザウイルスは、AH1pdm09型が147株、AH3型が51株、B型が5株〔山形系統4株・ビクトリア系統1株〕、A型亜型不明1株となっています（11月30日現在）。

[インフルエンザウイルス分離・検出速報 \(国立感染症研究所\)](#)



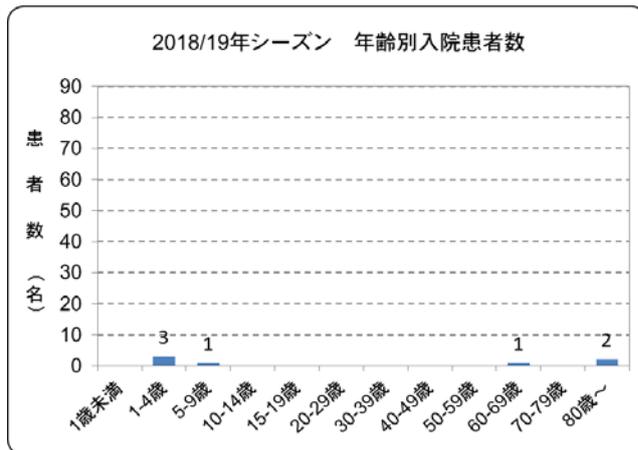
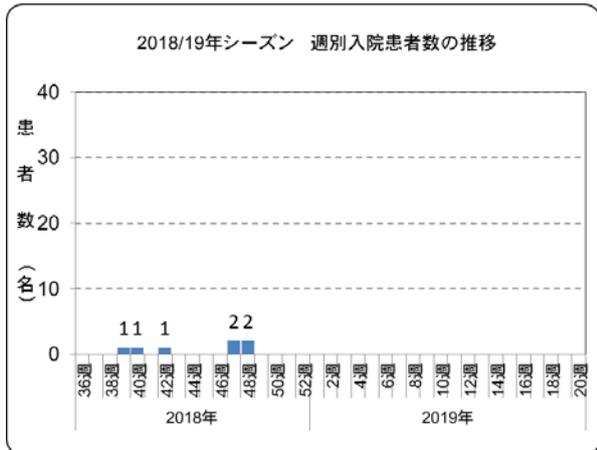
4. インフルエンザ様疾患による学校等の臨時休業施設数

インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が、2施設でありました（岡山市）。

5. インフルエンザによる入院患者報告数（県内基幹定点 5医療機関による報告）

インフルエンザによる入院患者は、2名（60-69歳 1名、80歳以上 1名）の報告がありました。

幼児や高齢者、慢性疾患・代謝疾患をもつ人、免疫機能が低下している人などでは重症化することがありますので、注意が必要です。幼児ではまれに脳炎を起こすことがあります。水分をとった後すぐ吐いてしまう、元気がない、意識がはっきりせずとうとうとしている、けいれんを起こす、このような症状がみられるときは、すぐに医療機関を受診しましょう。



【2018年9月3日以降に入院した患者の累計数】

年齢	1歳未満	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計
入院患者数		3	1							1		2	7
ICU入室*													
人工呼吸器の利用*													
頭部CT検査(予定含)*												1	1
頭部MRI検査(予定含)*												1	1
脳波検査(予定含)*													
いずれにも該当せず		3	1							1		1	6

* 重複あり

◆◆ インフルエンザの予防接種は、お早めに！ ◆◆

インフルエンザのワクチンによる効果が現れるまで、2週間程度かかります。

本格的な流行がはじまる 12月中旬までに、予防接種を済ませることをお勧めします。

定期予防接種の対象者は、積極的に予防接種を受けましょう。定期予防接種の対象者以外の方も、任意での予防接種を受けることをご検討ください。

- ・ 予防接種は発症の可能性を減らし、もし発症しても重い症状になるのを防ぎます。
- ・ 年により、流行するウイルスの型が変わるため、毎年接種する必要があります。
- ・ 13歳以上の方は、1回接種を原則としています。

定期予防接種対象者

* 65歳以上の方

* 60～64歳で心臓、腎臓または呼吸器の機能に障がいがあり、身の回りの生活が極度に制限される方、ヒト免疫不全ウイルス（HIV）により免疫機能に障がいがあり、日常生活が非常に困難な方

◎ワクチンの在庫および予防接種の予約等については、各医療機関にお問い合わせください。

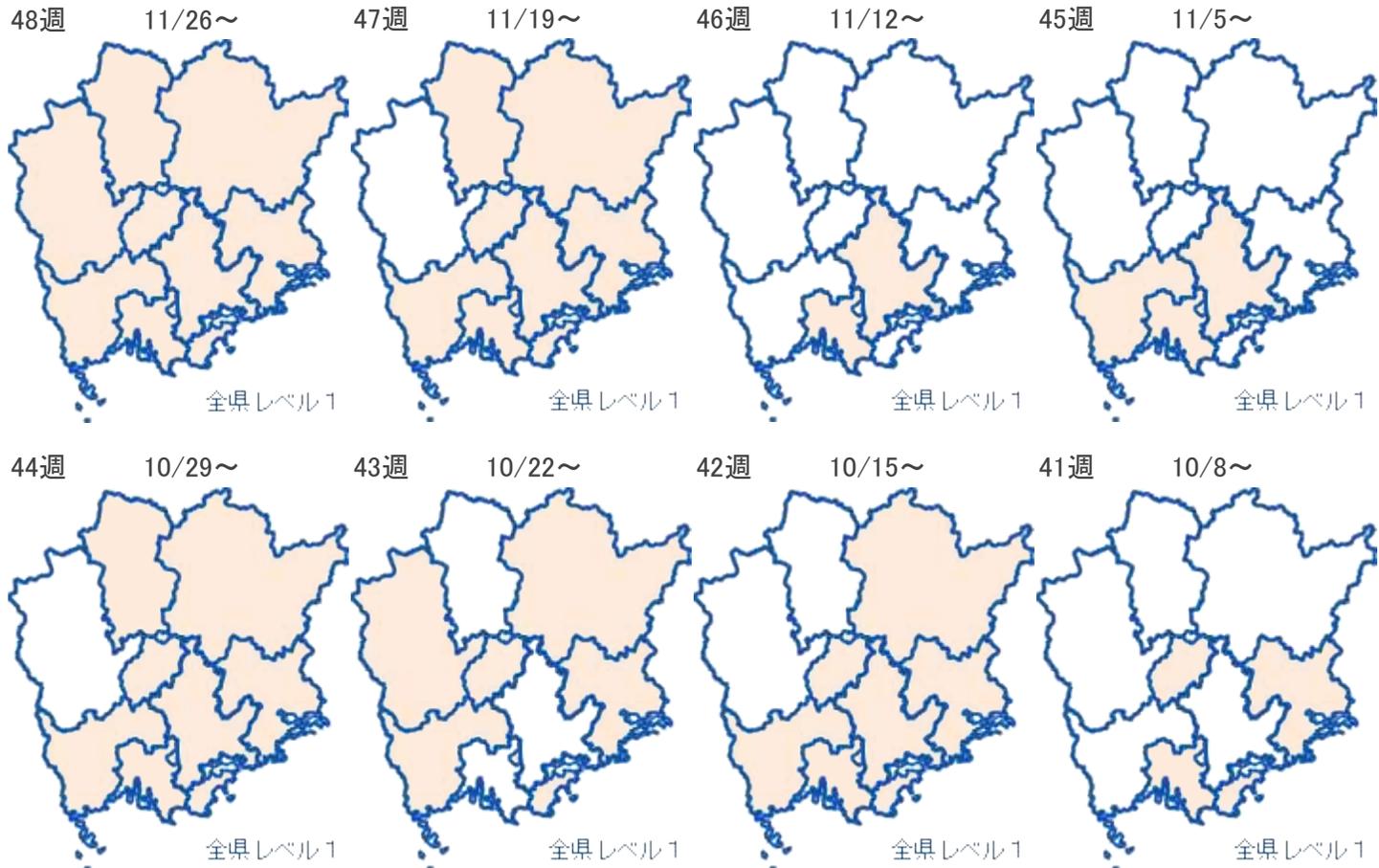
◎定期予防接種については、接種できる期間が市町村によって異なりますので、お住まいの市町村担当課にお問い合わせください。



岡山県地区別 インフルエンザ感染症マップ 2018年 48週

2018年12月5日

8:55:10



インフルエンザ

レベル3		レベル2	レベル1	報告なし
開始基準値	終息基準値	基準値	基準値	基準値
30	10	10 以上 30 未満	0 < 10 未満	0

レベル3の開始基準値を一度超えると、終息基準値より下がらないとレベル3が継続されます。